

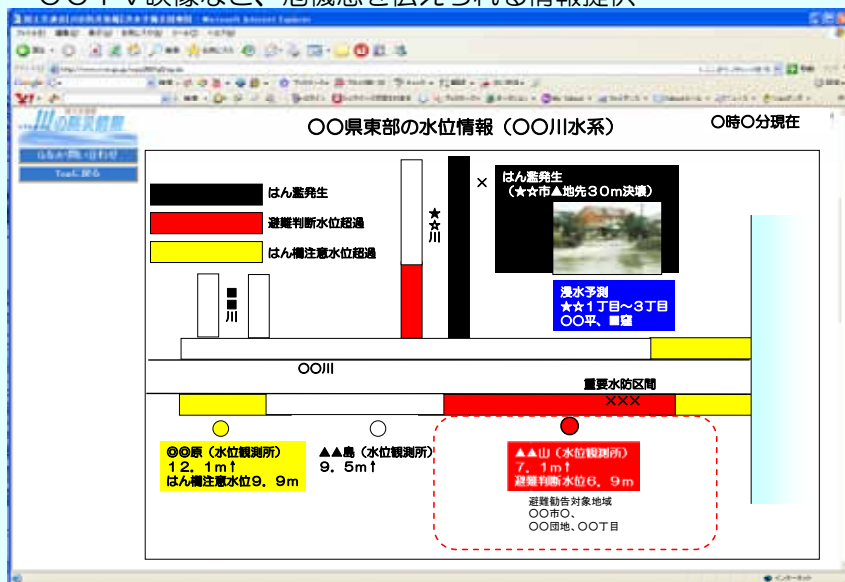
先行実施プロジェクトのイメージ

ユビキタス河川情報システム（イメージ）

テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話、CCTV等あらゆるツールから情報が提供され、いつでも、どこにいても容易に必要な情報にアクセスできる。

水位情報のわかりやすい表示（イメージ）

視認性のある水位情報の提供
 水位だけでなく、対象となる地域名をきめ細かく情報提供
 CCTV映像など、危機感を伝えられる情報提供



地上デジタル放送の活用（イメージ）

河川情報など、視聴者の周辺の情報を自動的に選択し、分かりやすく提供

〔インターネットや携帯電話等による情報提供との違い〕

- ・パソコンや携帯電話等の情報機器に不慣れな人にも使いやすい。
- ・PUSH型の情報提供に適している。

〔アナログ放送との違い〕

- ・視聴する場所に応じた情報の提供ができる。（7桁の郵便番号エリア）
- ・データ放送により欲しい情報を選択できる。



VICSによる河川情報提供（イメージ）

・「VICS」とは、VICSセンターで編集、処理された渋滞や交通規制などの道路交通情報・河川情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に文字・図形で表示する画期的な情報通信システムである。VICS情報は24時間365日提供している。



「1キロ先道路浸水のため、車線規制があります」

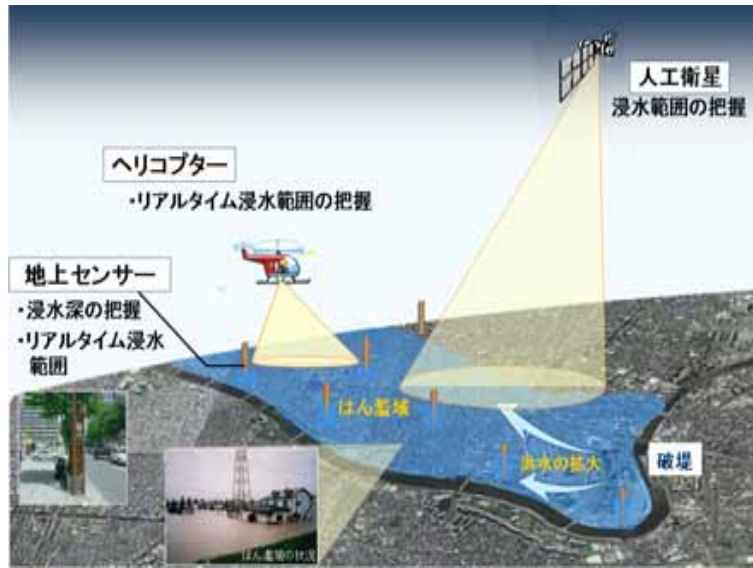


「1キロ先〇〇川堤防決壊のため、通行止めです」

ユビキタスネットワークを活用した避難誘導支援（イメージ）

あらゆる場面において、その場で必要な情報に、「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスできるように伝達手段の多様化、情報の質の高度化を図る。

- 携帯電話、GPSの電波が届かない場所でも情報を取得することが可能
- 土地に不案内であっても避難経路情報を取得することが可能



安全区域の情報等
例:高架の駅、高台、マンション

凡例：洪水時に浸水しない安全な区域
 ● 高架の駅
 ● 高層住宅（3F以上）
 ● 高台（EL.〇〇m以上）

避難指示が発令されました。最寄りの避難所へ避難してください。

現在地と避難所への避難経路情報
例:地下鉄、地下街

出口

避難指示が発令されました。○番出口より〇〇ビルへ避難してください。
例:地下鉄、地下街

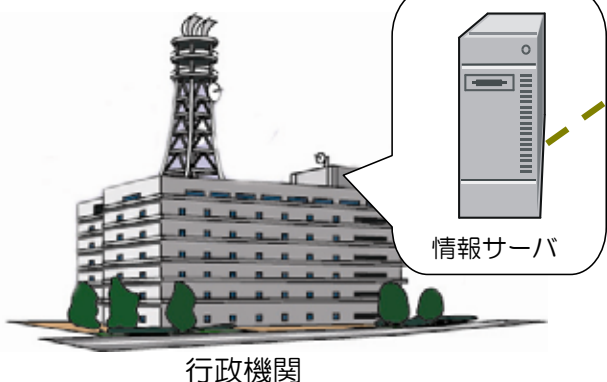
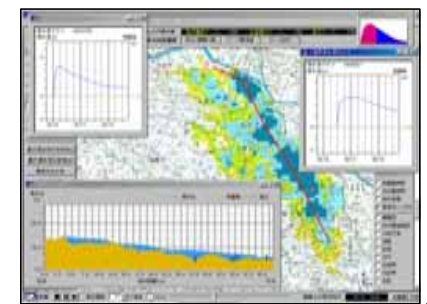


現在地と避難所への避難経路情報

河川や堤防の縦断的な実況の情報
例:「〇〇km地点のリアルタイム画像」



リアルタイム氾濫シミュレーション結果



- ◆ 携帯電話等の携帯端末
- ◆ テレビ、ラジオ、防災行政無線等

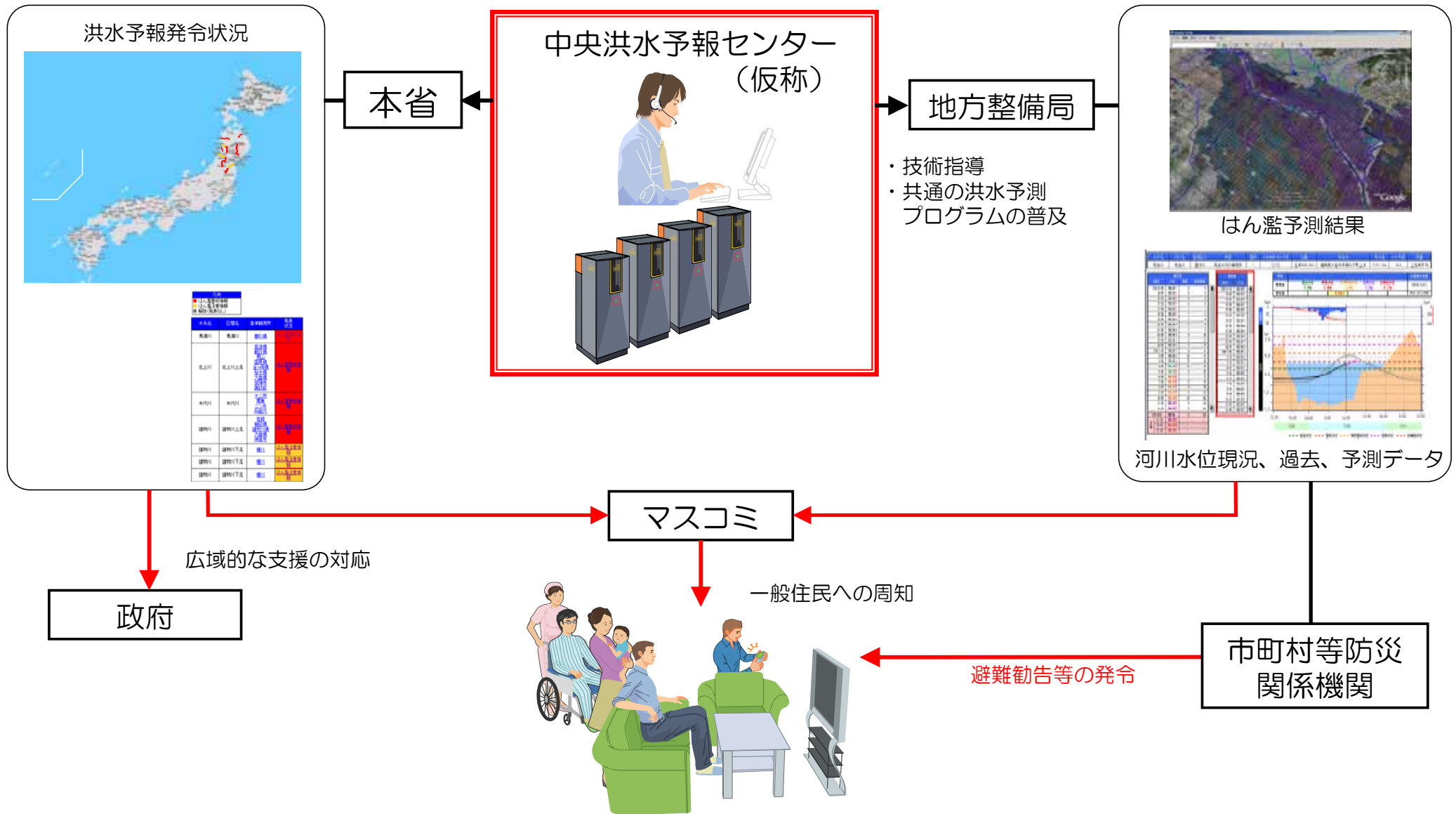
住民・市民との双方向型の情報共有基盤の整備（イメージ）

河川管理者と住民等は双方向型河川情報プラットフォームにより、現場の状況、河川管理者の対応等の情報を共有できる



広域的・長期的で高精度な将来予測の実現（イメージ）

洪水予測（氾濫予測を含む）に関する情報発信を一元的に行うセンター機能（組織、仕組み、コンテンツなど）の整備



1. 平常時は洪水予報の技術的支援・指導を行い、洪水予報の高精度化を図る
2. 各洪水予報機関からの情報を全国でとりまとめ、速やかに広域的な支援に対応する
3. 降雨予測技術の高度化等の調査・研究を行う